

入中1年人権だより



徳島市 八万中学校
1年生 第2号
2020年6月25日
編集・文 吉成正士

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を学んで

本当なら、学年の皆さんを一堂に会して、「出会う」ことから、人権学習をスタートさせたかったのですが、今年はそういうわけにはいきませんでした。

その代わりに、というわけではありませんが、今年とはかく「新型コロナウイルス」です。このことについて人権学習をすることが先決と考え、各クラスでスタートさせました。

そんな学習の感想を紹介しながら、他のクラスではどんな人権学習になっていったのか、同じ学年にどんな思いや考えを持っている子がいるのか、知ってもらえればと思います。

■私はコロナウイルスは本当に恐ろしいものだと思います。徳島で何人か感染者の人が出たとき、ニュースでその人が行ったお店などを言っていました。それで私は、「ここのお店には行かんようにしよう」と思いました。これは自分の命を守るために思ったことでした。でも、それから時間がたって、「あの人が行ったからあのお店に行かんようにしよう」と思っている自分に気づくことができました。対策をされていて感染してしまったのだったら、その人は全く悪くないのに、あんなことを思っていて、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。

今、感染者の人を差別している人も同じで、気づかないうちに、命を守る行動から人を傷つけてしまう行動になっている人はたくさんいると思います。人を傷つけても自分の命は守れないので、私はこれから一つ一つの行動を見直していこうと思います。そして差別をしている人たちにも、このことを気づかせてあげられる人間になりたいです。(KHさん)

「差別している人」は、少し前の自分。自分が気づけたのは自分の努力もあるけれど、自分に気づかせてくれた「誰か」のおかげでもあるはず。ならば次は、自分がその「誰か」になることです。正しさを知った人は、それを次の誰かに伝える義務と責任があります。それは「誰か」のために「～してあげる」ではなくて、自分のために「誰か」がしてくれたように、当たり前のこと。だから、「～してあげる」ではないのですよ。

この国には、人類には、もっともっと、日常的に人権を学ぶ必要があるようです。「新型コロナウイルス」だからといって、急に「人権、人権」と言い始めても混乱するだけです。人は混乱すると、おかしな方向に考えてしまったり、間違ってしまったたりしてしまうものです。やはり、非日常ではなく、日常的に人権を学ぶ必要があるのだと思います。

■僕はコロナウイルスが日本に広がり始めたときから今に至るまで、たくさん問題や事件がありましたが、その原因は、今日出てきた3つの顔の影響だと思いました。なので、人ごとだと思わず、自分の行動でも変わってくるので、今できることをしっかりやろうと思いました。

少しずつ外に出られるようになりましたが、気を抜かずマスクをつけ、帰ってからの手洗いうがい、部屋の換気をしたり、外では人混みを避け、ソーシャルディスタンスを心がけようと思いました。コロナウイルスが落ち着き、また楽しく外出や学校生活を送れるように、今自分にできる最大限のことをやろうと思います。

さらに、ニュースなどで報じられる正しい情報だけを信じて、不安や心配をできるだけ減らし、落ち着いた生活をして、周りも自分も安心させられたらなと思います。どれだけ長期戦でも、諦めず、前を向きたいと思います。(HDさん)

情報のどれが正しくてどれが間違えているのか、見極めるのは本当に難しいものです。もし、その情報が正しくないと分かっていると、都合のいいように操作されて流されていけばどうでしょうか。そんなことは、日本の歴史上でいくつもありました。戦時中の情報や公害などの情報など。今流されている情報も、常に疑ってみる必要があります。

「じゃあ、何を信じればいいのか？」ですよね。自分の目で、耳で、知性と感性で、見極めるしかないのかもしれないかもしれません。そのためにも、日頃からしっかり勉強して、正しさを積み上げていく努力をいとわないこと。それだけではどうしても不十分ですから、人との対話や議論を繰り返すこと。勉強をおろそかにし、人との交わりがないと、小さな自分の中だけで物事を判断するしかありません。つまり、間違った方向に進んでしまう可能性が高くなってしまうということです。大切なのは、一日一日の「日常」。その積み重ねです。

■第2の感染症の、「不安、恐れから起きるネットのデマ」について、僕はニュースで「ネットのあの情報は嘘です」、みたいなを見ると、なぜそんな何の根拠もないことをネットに書くのか不思議でした。自分も不安だから、それがコロナに効くと思い込んで書いてしまったのか、それとも人を困らせるために書いているのか。それなら僕は絶対に許しません。ネットのことを鵜呑みにするのではなく、調べてそれが本当かどうか考えることが大切と思いました。

新聞を見ていると徳島で県外のナンバープレートの車を見て石を投げたというのを見ました。コロナの自粛のストレスでそんなことをしてしまったんじゃないかなと思いました。コロナは病気だけじゃなくて、人間の心までも変にってしまうんだなと思いました。(STさん)

■私はコロナについて勉強して、改めて自分が何をすべきか分かりました。緊急事態宣言が出された頃は、まだコロナについて詳しくは知りませんでした。だから車の県外ナンバーを見たとき、少し嫌な気持ちになりました。でも、今ではコロナに対する思いが強くなり、今まで以上に危機感を感じました。

これから自分がどうしていくのか、まずはできることからするのが大事だと思うので、マスクを着用することを心がけようと思います。あと、インターネットに書かれていることは本当だと限らないので、そういう噂話には流されないことが自分のためにもなるかなと思います。こういうことが自分のすべきことだと知れて良かったと思います。他にも自分のすることを考えてみたいと思います。(NMさん)

差別に対抗するため、様々な差別について人権学習の中で学んでいく必要がありそうです。

かのマザー・テレサは言いました「愛の反対は憎しみではなく無関心です」と。「憎しみ＝差別」とするならば、それは誤りで、「無関心こそが差別を生み出す」ということになります。つまり、人権学習に無関心にならないことこそが、最も大切なことだということです。

これまでの皆さんはどうだったでしょうか？

今の皆さんはどうでしょうか？

これからの皆さんはどうでしょうか？

■私は不安や恐れを防ぐために、まず本当かどうか分からない噂や情報は信じないことにします。私も前に、「〇〇病院で感染者が出た」というデマを信じてしまいました。その時のことや今日の授業のことで、より一層気をつけ、拡散など、そういったことはしないようにします。

そして、偏見や差別、こういうことも私はしてしまいました。買い物に行った時、中国人がいて、「いやだなあ」と思ってしまいました。今思うと、その人が感染しているかどうか分からないし、「中国人」という、たったそれだけのことで偏見を持ってしまって、何て馬鹿らしいことをしてしまったんだろうと反省しています。そして、偏見や差別を防ぐために、自分ができることは、本当かどうか分からない情報を信じずに、拡散などせず、心の中にそっと置いておくことにします。そして、私がしてしまったからこそ、不安や恐怖に踊らされずに、物事を冷静に見て、考えることがとても大事だと思いました。(TNさん)

自分の間違いや未熟さ、醜さを出すということは、すごく大切なことです。言い過ぎかもしれませんが、出さないと、その先には進めないのかもしれませんが、自分の中にある、ドロドロした醜いものを吐き出し、それを乗り越えていくことです。

それにしても、いつもいつも冷静に見て考えることはできるか…？

そのために、仲間がいるのではないのでしょうか。そんな、自分を指摘し、正してくれるような仲間は、皆さんにいますか？ もしいなければ、これからつくっていく必要があるのかもしれませんが、自分になりたい

自分になるために！

■第1の感染症は、「病気そのもの」でした。第1の感染症を防ぐには、手洗いやうがい、3密を避けるなどをして防ぐことができますが、第2の感染症は見えない「不安・おそれ」でした。なので、防ぐのはとても大変そうだと思います。しかし、自分にもできることはあると分かりました。例えば、不確かな情報を信じない、広めないなどです。

そして、第3の感染症は、「嫌悪・偏見・差別」でした。この「嫌悪・偏見・差別」は、絶対に広めてはいけなと思います。第3の感染症は自分の努力で防ぐことができると思います。

私の家の前の人は医療従事者の方です。その家族は、他の人との交流を少なくして、他の人に迷惑をかけるまいと気を遣ってくださっています。私はその家族のためになることを考えないといけないと思いました。次会った時には、感謝の気持ちを伝え、その人を応援したいと思います。そして、世の中を支えてくださっている人や、周りの人への感謝の気持ちを持ちたいです。こうしてみんなが感謝の気持ちを持つと、第3の感染症は絶対に防げると思います。(IMさん)

■コロナウイルスがどのようなものか詳しく分かりました。今、世界各国で混乱し、不安な状況が続いています。もちろん私も不安です。いつ感染してしまうのか、元の生活にもどれるのか。でも、こんなことばかり言ってもキリがないと思います。私たちがこう嘆いている間もコロナウイルスと必死に闘ってくれている人がいるからです。でも、私たちにワクチンを作ることや政治をまわすことはできません。ですが感染しないように予防したり、思いやりの心を持つことはできます。

今日の授業で、差別や嫌がらせが起きていると知ってとても驚きました。同じ人間、同じ日本人なのに。今、闘っているのは「人間」ではありません。「ウイルス」です。けれど、「ウイルス」がいる限り、このようなことは必ず起きてしまいます。一刻も早く収束してくれることを願って、もとの生活に戻れるように、私も頑張っていきたいと思います。(YIさん)

「差別を憎んで人を憎まず」

憎むべきは差別であって、その人そのものではないということです。

この言葉を借りて言えば、「コロナウイルスを憎んで人を憎まず」。憎むべきはウイルスであって、罹った人ではないということ。ましてや、それに立ち向かっている人たちを差別するなんて、もってのほかということです。

けどもし皆さんが、そんな人たちに感謝の気持ちを伝えたり応援することを、「やめときなさい」「かわらないように」「あなたには関係のないことだから」と言われたら…。あなたなら、どうしますか？

* * *

皆さんの声が直接届けられない今。「人権だより」を通じて、互いの思いを共有できればと思います。やはり、つながること、互いのことを知ることからです。これからも皆さんの感想、よろしくお願ひしますね！